

p. 58（6 植栽・保育の低コスト化と鳥獣被害防止）

【誤】

現在、日本の森林の・・・(以下略)。

【正】

日本における人工林の施業では、植栽と保育に大きな費用がかかります。主伐後の再生林を進めるにあたり、植栽・保育にかかるコスト削減は喫緊の課題であり、現在、各地で低コスト化の取り組みが進められています。

例えば、大きめの苗を1,000本や1,500本という低密度で植栽し、植え付けや下刈りのコストを低減する取り組みが始められています。また、欧米で利用されているコンテナ苗（プラグ苗）は、少なくとも雪の少ない地方では季節を問わず植栽できるなどの利点があり、伐採工程と上手に組み合わせ、地ごしらえを省力化することで造林コストを低減できる可能性があることから、日本の気候風土にあわせた技術開発・実証が進められているところです。

現在、日本の森林の・・・(以下略)。

p. 93（2 森林の保護）14～15行

【誤】

・・・防止の方法（人工植栽予定箇所等での対策を記載）、「森林の保護（上記以外の鳥獣害対策等の方法を記載）」を記載することとされています。

【正】

・・・防止の方法（人工植栽予定箇所等での対策）、「森林の保護（上記以外の鳥獣害対策等の方法を）」を記載することとされています。

p. 111（(1) 指針の性格 ①共通する部分）3行

【誤】

・・・基本的には側溝や暗渠ではなく、・・・。

【正】

・・・基本的には側溝や暗渠ではなく、・・・。

p. 111（(2) 耐久性と経済性の両立）5行

【誤】

・・・地形に沿った切り盛り高の低い、土量が少ないルートのこと。

【正】

・・・地形に沿った切土・盛土の法高の低いルートの・・・。

p. 117（○計画のポイント）1ポツ

【誤】

・・・している箇所を通過するように選定

【正】

・・・している箇所を通過するように選定

p. 127 10行

<p>【誤】</p> <p>・ ・ 林業振興のビジョンまでの役割 ・ ・ ・ 。</p>	<p>【正】</p> <p>・ ・ 林業振興のビジョン作成の役割 ・ ・ ・ 。</p>
---	--

p. 127 ((2)市町村森林整備計画の策定・変更) 2行

<p>【誤】</p> <p>・ ・ の記載事項 (木材生産等維持増進区域、路網整備等推進区域、 ・ ・ ・ 。</p>	<p>【正】</p> <p>・ ・ の記載事項 (木材生産機能維持増進森林、路網整備等推進区域、 ・ ・ ・ 。</p>
--	--

p. 149 (2 森林経営計画の作成) 1行

<p>【誤】</p> <p>・ ・ 市町村森林整備計画に掛して森林 ・ ・ ・ 。</p>	<p>【正】</p> <p>・ ・ 市町村森林整備計画に適合して森林 ・ ・ ・ 。</p>
--	--

p. 151 (表6-1)「関係者および協力者」欄

<p>【誤】</p> <p>「作業項目」 18 施業の実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 外注</p>	<p>【正】</p> <p>「作業項目」 18 施業の実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ (空欄)</p>
---	--

p. 172 (図7-11) 資料

<p>【誤】</p> <p>資料：経済産業省「 ・ ・ ・ 」 (平成27年)</p>	<p>【正】</p> <p>資料：経済産業省「 ・ ・ ・ 」 (平成28年)</p>
--	---

p. 184 (事例) 8行

<p>【誤】</p> <p>・ ・ 体制を構築している (図7-24)。</p>	<p>【正】</p> <p>・ ・ 体制を構築している (図7-25)。</p>
---	--